

原子力発第11138号  
平成23年 7月22日

愛媛県知事  
中村時広 殿

四国電力株式会社  
取締役社長 千葉 昭

九州電力株式会社玄海原子力発電所第3号機の原子炉建屋及び  
原子炉補助建屋の耐震安全性評価における入力データの誤りを  
踏まえた対応に関する国からの指示について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当社事業につきまして格別のご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

九州電力株式会社玄海原子力発電所第3号機の原子炉建屋及び原子炉補助建屋の耐震安全性評価における入力データの誤りを踏まえた対応に関して、平成23年7月22日付けで原子力安全・保安院から、別添のとおり指示がありましたので、安全協定第10条第4項に基づきご報告いたします。

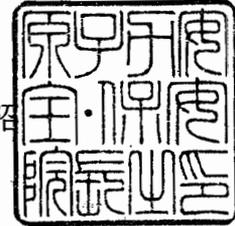
敬 具

# 経済産業省

平成 23・07・22 原院第 1 号  
平成 23 年 7 月 22 日

四国電力株式会社  
取締役社長 千葉 昭 殿

経済産業省原子力安全・保安院長 寺坂 信昭



九州電力株式会社玄海原子力発電所第 3 号機の原子炉建屋及び  
原子炉補助建屋の耐震安全性評価における入力データの誤りを  
踏まえた対応について（指示）

原子力安全・保安院は、別添（NISA-151b-11-4、NISA-161b-11-5、NISA-181b-11-5、NISA-191b-11-4）のとおり、「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」等の改訂に伴う既設発電用原子炉施設等の耐震安全性の評価を実施している原子力事業者に対応することを求めることとしました。

つきましては、貴社におかれましては別添に従い、所要の対応をお願いします。

## 経済産業省

平成 23・07・22 原院第 1 号

平成 23 年 7 月 22 日

九州電力株式会社玄海原子力発電所第 3 号機の原子炉建屋及び  
原子炉補助建屋の耐震安全性評価における入力データの誤りを  
踏まえた対応について（指示）

経済産業省原子力安全・保安院

NISA-151b-11-4

NISA-161b-11-5

NISA-181b-11-5

NISA-191b-11-4



平成 23 年 7 月 22 日に、九州電力株式会社から、平成 18 年 9 月 20 日付  
け「「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」等の改訂に伴う既設発電  
用原子炉施設の耐震安全性の評価等の実施について」（平成 18・09・19  
原院第 6 号）において指示を行った耐震安全性に係る評価について、同社玄海  
原子力発電所第 3 号機の原子炉建屋及び原子炉補助建屋における入力データ  
の一部に誤りがある旨の報告を受けました。

当該報告によると、原子炉建屋の地震応答解析モデル（鉛直方向）の質点重  
量のうち、標高 28メートルに設置されている復水タンク上屋の屋上について、  
本来は  $2.60 \times 10^4$  kN と入力すべきところを、一桁小さい  $2.60 \times 10^3$  kN が  
入力されていたとしています。また、原子炉補助建屋地震応答解析  
モデル（水平方向）における基礎側方地盤水平ばねについて、本来は  $2.66$   
 $\times 10^7$  kN/m と入力すべきところを、2倍となる  $5.32 \times 10^7$  kN/m  
が入力されており、同様に回転ばねについても、本来は  $3.75 \times 10^7$  kN  
/m と入力すべきところを、2倍となる  $7.50 \times 10^7$  kN/m が入力され  
ていたとしています。

原子力安全・保安院（以下「当院」という。）としては、今回の同社による  
玄海原子力発電所第 3 号機の耐震安全性評価における入力データの誤りを踏  
まえ、同社が解析を委託した会社と同じ会社に解析を委託した原子力事業者は、  
同様の誤りがないか調査し、解析を委託した会社が異なる原子力事業者は、入  
力データに誤りが無いことのチェック体制について再点検を行い、その結果を  
平成 23 年 8 月 22 日までに当院に対し報告することを指示します。